

信濃教育会と同様に北佐久部会の役員も、会長に北佐久郡長が就任し、そのもとで郡の役人が会務や会計をとりしきるのが通例であった。やがてそれにあきたらず、会長に教員の代表が就任し、教育会を教員が主体となった教育組織に変えていく動きが始まった。この教育会の自主化運動の先陣を切ったのが、北佐久部会である。

一九〇六（明治39）年、小諸尋常高等小学校長の寅太郎は、選挙により県下で初めて教員として北佐久部会長に就任した。教育会の自主化運動は、その後県下に広まり、各部会で教員の部会長が誕生した。

北佐久部会長に就任後は、部会の財政面の強化や郡内教員の全員入会による会員数の拡張など、指導力を多いに発揮した。

●信州教育の充実に尽す

寅太郎は、信濃教育会の副会長を二期つとめた後、一九一八（大正7）年に、信濃教育会長に就任した。以後、一九三三（昭和8）年に起きた二・四事件（「教員赤化事件」）の責任をとり辞任する一九三四（昭和9）年三月まで、信濃教育会長を八期一五年つとめ、信濃教育会の基礎を築いた。

会長の在任中、長野県師範学校を統合して男子・女子各一校制するとともに、県下で初めての工業学校である長野工業学校を設立した。

また、中学校の上に接続する男子の高等普通教育の学校である高等学校の誘致運動が全国で起きると、高等学校を松本に誘致する運動の先頭に立ち、全国で九番目の高等学校である松本高等学校の誘致を実現させた。

さらに、岩村田実科女学校や岩村田中学校（現岩村田高校）の創立、長野県立図書館の設置、信濃教育会館の建設、教員互助会の設立にも貢献した。



旧制岩村田中学校（『岩校六十年誌』より）

一方で、信

州教育の海外発展を知事に献策、ブラジルや満州などの海外移民を奨励し、信濃海外協会が設立されると副総裁に就任した。こうした信濃教育会の海外発展の方針は、のちの

満蒙開拓青少年義勇軍や「興亜教育」につながることになる。

●衆議院議員として

一九二〇（大正9）年、寅太郎は、北佐久友友会の推薦を受け衆議院議員に当選し、衆議院議員を一期つとめた。議員在任中は、満州大学設立の建議を衆議院に提出し、満鉄医学大学、旅順工科大学を実現させた。こうした永年の功績により、長野市の信濃教育会館前庭に頌徳碑、岩村田中学校中庭に寿像が建てられた。信州教育の充実や地域の発展に尽した寅太郎の生涯は、多くの者から慕われ、一九四三（昭和18）年九月に、岩村田中学校で行われた学校葬には、大勢の人が参列したという。

（伊藤純郎）



岩村田中学校に建立された寿像
この像は戦争中に供出されてしまい、現在岩村田高校内に立つ像は平成2年に再建されたものである。
（昭和17年度岩村田中学校卒業アルバムより）

参考文献

『信濃教育』第五四九号（佐藤会長頌徳記念号） 信濃教育会
市川本太郎『長野師範人物誌』 信濃教育会出版部

肖像写真

信濃教育会所蔵

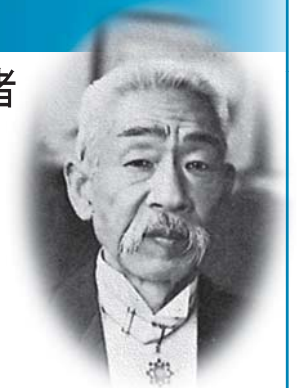
佐久の先人たち⑥

信濃教育の充実に尽した教育者

さとうとらたろう

佐藤寅太郎

(1866~1943年)



信濃教育会会長を15年つとめ信濃教育会の基礎を築くとともに、長野県立工業学校（現長野工業高校）の設立、松本高等学校（現信州大学）の誘致、長野県立図書館の設置、信濃教育会館の建設など、信州教育の充実に尽した教育者。

●腕白少年

寅太郎は、勉強よりも遊びの方が大好きな腕白少年で、母親のせいに連れられて長野県に登校した。せいは、菓子や絵本を褒美として与え、小学校へ行きたがらない寅太郎の登校を奨励したという。

しかし、小学校の成績は優秀で、一八七八（明治11）年、明治天皇が東北信を通過した時は、生徒隊長として追分原で天皇を迎えた。翌年、学校を巡視した長野県知事がシベリア地図で川の名を質問した時は、オビ川・シナ川など名前をすらすらと答えた。

一方で、水泳中におぼれ、溺死寸前に救助されたと
いう逸話もある。



長土呂の生家（信濃教育会所蔵）

●行動派の校長

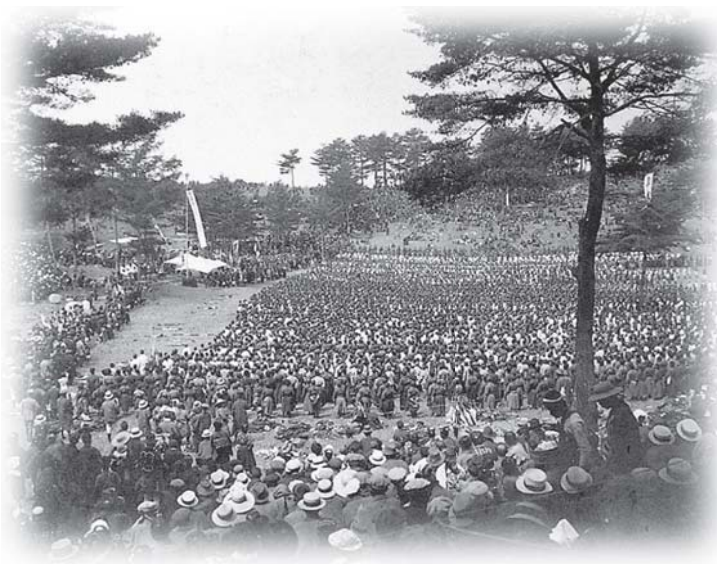
一八八九（明治22）年、長野県尋常師範学校（現信州大学教育学部）を優秀な成績で卒業後、川西・岩村田・小諸などの各小学校長をつとめた。

本牧村など六つの村で設立した川西高等小学校では、兔狩り・雪合戦・陣取など野外運動を奨励し、一八九三（明治26）年に実施した群馬県への修学旅行は、北信地方で最初の宿泊旅行とされる。

岩村田尋常高等小学校では、義務教育である尋常小学校四年を終え、工業・農業・商業などの実業に従事する者に必要な教育を行うために、尋常小学校を卒業した一二歳以上の者を入学資格として修学年限を三年

とするこの種実業学校の設立を主張した。

小諸尋常高等小学校では、全校生徒を率いて浅間登山を成功させた。また、日露戦争の日本海海戦の勝利を祝し、北佐久郡の全校を集めて御牧原で行った連合大運動会では総指揮官をつとめ、東郷平八郎元帥から祝電を受けるなど、行動派の校長であった。



御牧ヶ原大運動会の整列風景（明治39年 土屋啓二氏所蔵）

●信濃教育会北佐久部会長

一八八六（明治19）年、長野県下の教員を集めた教育団体である信濃教育会が発足すると、翌年北佐久教育会は最初にその支会（一八九〇年に信濃教育会北佐久部会と改称）となった。